

丸ポストが目印



いもねえさん

寒い時には動く

寒いよ～

それでもヤギはのんびりと座ってモグモグと口を動かしていた。

「おーい、来たよー」と木や草を持っていくと気配を感じて立ち上がる。

寒くないのかなあ。。。

家では洗い物をためたまま布団の中で本を読む。

お腹がすいた。

よし、動こう。何か食べなきゃ。

さっさと動き出すとけっこう寒くはない。

家の中でも大回りして動く。

例えば、お皿は1枚ふいてはそれを戸棚に入れる。歩数も多くなるしね。

昔、家庭科で動線の短い台所はどんな台所か、などと学んだような気がする。

主婦が疲れないような動線。。。

今は動線なんて考える必要もないね、より動いた方がいい。

で、動いているうちにちょっとだけ体が温かくなったよ。

外には出たくないけれど、せめて家の中でえいやっと動いてみるか。

木と一緒に呼吸するらしい

私の家に来た人は、木の香りがするという。

もう今年で築14年になるんだけど、まだ木の香りがするのかしら、、、

たしかに壁は全部杉板ではあるんだけど。

マンションに暮らす妹は窓に結露のないことに驚いていた。

そうね、結露はまずない。

あってもまもなく自然となくなり、結露がたれてくることはない。

木が吸収してくれるらしい。

呼吸が楽だとも言っていた。

木と一緒に呼吸しているみたいだとも。

でも部屋の中寒いよ。家の中でコートはおってるもん。

面白いのは、梅雨の頃。

窓の外側に結露する。

ムワ〜とした朝なんか窓が曇っている。窓の外側に結露！

家の中の方が涼しいので、窓を開けないようにする。

これは不思議な気分。

カットがうまいんじゃ

上京して髪をカットして2ヶ月過ぎた。
普通ならだらしなく伸びてきているはずなのに
毎日、いい感じをキープ！

いつもなら前髪だけ自分でカットしたりするんだけど
まだ前髪もOKだ。

いい感じね、といわれると嬉しい。
これは、カットがうまいんじゃ、という結論に。
そう、カットしてくれた男性、カッコよかったもん。。。
何か関係あるん？
あるよ、センスがいい人だった、つまりそのセンスでカットしてくれたの。

カットは2ヶ月に1回はしないとダメだと思い込んでいたけれど、違った！
うまいカットなら、もっともつ。
さあ、このヘアスタイルいつまでキープできるか。

このデザートはかなりオススメね。

ちょっとした集まりでデザートを作った。
と言っても、フルーツポンチ。



サイダーを入れるのはいいんだけど、苦手な人もいるし。

ずっと置いておくのも気がぬける、で、各自が器によそって、入れたい人がサイダーを入れる方式にした。

こんにゃくゼリーを切って入れた。翌日は他の果物にこんにゃくゼリーの色がつくから早くに作っておくのはNG！

ちょっとサイダーをかけるだけでこんなにもちがうのね。

声に出すその一言

昨日はさすがに疲れた。

でもスーパーで、「昨日はお世話様でした！ありがとうございました。」

少し離れたところから笑顔でそう言われた。

その一言、嬉しいよね、疲れが半減したよ。

身体も軽くなった気分！

こんな日は、、、

夕方、明日の定期船は海上不良のため欠航します、との防災放送が流れた。

海が荒れるんだな、当然天気も悪いんだろう。

天気予報を見ると、明日は朝から晩まで傘マーク！

その後、ものすごい大雨と風。

何事？バラバラバラバラすごい雨音。

今夜は、風がまともに当たらない別の部屋へ引越した。布団を運ぶ。

明日はパン焼きの仕事だ。

大雨にならないといいなあ。

まあ、家の中で一人でくすぶってるよりは、パン焼きの仕事してた方が身体も暖まるしいいかも。

パン焼きは仕込みを始めたらパンの動きに合わせてずっとこちらも動いていないといけないから天気のことや寒さのことは時に吹っ飛んでいる。

新聞に震災にあった東北の人の「不活発病」のことが出ていたが、寒いとそんな気にもなるよなあ。

何かの会があっても一週間に一度ぐらいだし、と。

特に東北の方は身体を動かす働き者の方が多いんだろうから。

みんなで集まって、みんなでご飯作って食べるのってどうだろうね、暖かい春が来るまで。

パン焼きの仕事はほとんど七分袖か半袖。

先日バザーで手に入れた半袖の黒のTシャツ。

私が狙うのは、最終日。袋を100円で買ってその中に何でも詰め放題なの。

コレ、すごく楽しい。

掘り出し物のTシャツは黒とはいえ、なんか派手。

だって、前はクモの絵。後ろは大きな四角に何やら絵がプリントされている。アニメ？

これを着てパン焼きの作業をしたら、背中部分が厚くて、ホカロンを貼ってるみたいだったので、コレ冬にはいいわと、今日も着て行った。

コレねー、背中にこんなごっついプリントがあるの、冬にはあったかいけど、夏だったらこんなの買わない方がいいよ。

背中暑いよ、夏は。

私も普段ならこんな模様のはさすがに着ないけどね、前にはクモのプリントだし。

すごい着てますねえ。それハンターハンターじゃないですか。最近人気です。

マニアならすごく欲しがると思いますよ。

えっ、そうなんだー。

何にも知らないで作業着に着てる私。

ハンターハンター？ジャンプ？だからそれ何？

クモの説明もしてくれたけど、、、もう忘れた。。。足が8本で、頭を入れると9人になって????

静か～

船は3日連続の欠航となった。

そうだよ昨晚のあの強風と雷だもん。

昨日は時折の雨。

図書館で本を借り替えた。

だれからも電話なし、ケータイーにも。

ケータイから自宅の電話に電話してみる。おっ、呼び出してる。

本を読んでもと昼ごはんを食べないまま外は暗くなった。

一人は気楽、でも生活乱れるね～

手すり

新装開店したうどん屋さん。

2段上がった所は畳敷き。

そして、2段上がるための手すりがついていた。

スゴイ！

感激！

この配慮。

このごろは段差に弱い、というより、ころんだら骨折、骨折したらその後の人生は狂う、ということを知人らからの例でも、身にしみている。

そしていつのまにか、私は手すりがあれば手すりを持つということが習慣になりつつある。

こんなはずじゃなかった、と思うのだけれど、気づくと人に遅れをとっているのだ。

もういい、自分のことだもの、率先して手すりを使わせてもらおうっと。

こういう事もこの年にならなければわからなかったなあ。。。

これからは年配者が多くなるんだからこういう配慮は必要だ。特にうどん屋は。

そして畳敷きが掘り炬燵みたいになってたら、なおステキね。

この作者は若すぎて、感性が強すぎてどうも文章の中に入っていけないのだけれど、新聞に載っていたので図書館で借りて一気に読んだ。

作者が意図するところではないのかもしれないが、作者自身出産したからこそ書けたのだろう。だいたい出産とか赤ちゃんとか育児とかきれいごとで素晴らしいこと、シアワセいっぱいのことのように世間は言いすぎ。

たしかにそういう一面はある。

私は61歳、4人の子供を出産した。

母としての立場で、この本にひきつけられた。いつでも変わらないのだ、人間の赤ん坊というのは。

産まれたらすぐに自力で立つ動物もいるというのに、人間はそうはいかない。

人間にするには1年かかるのだ。

笑顔だけじゃない。ぐずるし、泣くし、寝てほしい時に寝てくれない、汚すし、吐くし、髪を引っ張るし、自分でころんどいて泣くし、病気になるし、、、まあ次から次へとロクなことをしない。

1日が終わり無事に朝がきたらそれだけで○（マル）。

大きくなったら忘れるんだけどね。

私好みの図書館なのです。

まあ、みやすい図書館じゃねえ。。。妹が言った。

広島市に住む妹は市内の中央図書館というところに行くらしい。

さすがに大きな図書館で、本を探すのが大変で、読みたい本をメモしておいて予約するのだそう。

その番号たるや、数百番目という番号の時もあるという。

でも、わりと早くに連絡がくるのだそう。

同じ本が何冊もあるんじゃないかな。

人口が8000人チョイの町に対して何十万人をも対象にしてるんだろうから。

ここの図書館は新刊も多いし、けっこう揃えてあるんじゃない。

1人5冊、2週間借りられる。私は2週間毎に図書館に行くのが習慣になった。

芥川賞、直木賞受賞などの本はたいてい置かれるので、出たてホヤホヤのを借りれることも多い。

まあ。。。ええねえ。。。。

と言いながら妹は雑誌を見ていた。

広島市の人口どれぐらいになったん？

100万を超えたんよ、合併合併でね。私はここぐらいが好きじゃ。

都内の本屋に行くと、その本の多さと人の多さに私はのぼせ上がってしまう。

町の図書館の司書さんが選んで置いてくださっている本で私は十分なのです。

本のリクエストをしたりすると都内の図書館から取り寄せてくれるのだそう。したことはないけれど。

今日新聞に載っていた、佐藤愛子さんの「これでおしまい」というエッセイの記事。この本は先週読んで返却したばかり。

こんな僻地でも十分話についていけるんだなあ。

<オマケ>

借りてきた文芸春秋12月号、数独がしっかり鉛筆でやってあった。

こういうこたあせんってくれん？

ワカリマスカ、こういうことはしないでくれませんか、ってこと！

丸ポスト

あの赤い丸ポストは全国にあと5000本しかないそうだ。

そのうちの1本が我が家から降りていったところにあるポストだな。

集配は1日1回。

忘れてることはないかと思うこともあるけれど、律儀に集配してくれている。

1週間に2-3通だろうに、、、

我が家の子供らは、あの赤いポストこそがポストだと思っていたらしい。

それでも郵便局や街中には四角のポストもある。

末子に郵便物を出してきてと頼み、車を寄せたら、四角のポストの入れ口がわからなかったらしくポストをまわっていた。

小学校の低学年の頃だっただろう。

去年、レターパックを出すことがあり、レターパックはポスト投函できますとのことだったので、

ポストに出しに行った。

入らない！

郵便局まで車で行くことになった。

今日よくみると、なんとも味わいのあるポストだとわかった。

いったい何回塗り替えたのか、表面は夏みかんのようにポコポコ。

同じところにあったバス停はバスの運行廃止で2年前になくなった。

丸ポストのまま、ずっとなくならないでいてね！

じゃないと我が家を教える目印がなくなる～

小松菜5株

ずい分前に、老夫婦2人の自給生活を紹介している記事を見た。

老夫婦だけだから、えんどう豆なんて1メートル四方に植えてるだけですよ、食べきれないし、やりきれない、と。

秋にほんの少しだけ畑を耕し、小松菜を蒔いた。

1.5メートル×60センチだけ。

1センチ間隔に1粒ずつ。

それでも2回まびいた。

そして今日2回目の収穫。寒いから虫もついていない。

5株の収穫で十分だ。

スーパーでの1袋もこれぐらい、もうちょっと株は大きいけど。

今日の小松菜は浅漬けにした。

ヤギ小屋の堆肥返し？とやらをすとの連絡をもらったのに仕事で行けなかった～でも、堆肥は積み上げてるから持っていってもいいと言われた。

何か堆肥がすごい貴重品に思えるなあ。

そしてその堆肥を使って作った野菜も私にとってはすごい貴重品になるのです。